

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【公開番号】特開2007-144041(P2007-144041A)

【公開日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【年通号数】公開・登録公報2007-022

【出願番号】特願2005-345450(P2005-345450)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成20年11月18日(2008.11.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技に係る制御を行う遊技制御部と、
演出に係る制御を行う演出制御部とを備え、
前記遊技制御部は、
始動口に対する遊技球の入賞に応じて特別図柄抽選を行い、当該特別図柄抽選の抽選結果に応じて特別電動役物を開放制御すると共に、
特定の入賞口に対する遊技球の入賞、又は特定のゲートにおける遊技球の通過に応じて普通図柄抽選を行い、当該普通図柄抽選の抽選結果に応じて普通電動役物を開放制御する弾球遊技機であって、
前記演出制御部は、
所定の特別図柄抽選回数（ $N_1 + N_2$ ）に亘って継続する特定の演出モードを起動すると共に、当該特定演出モード中に継続性のある演出を行い、
前記遊技制御部は、
前記特定演出モードの開始から所定の特別図柄抽選回数（ N_1 ）に亘り、普通図柄抽選の抽選条件及び / 又は普通電動役物の開放時間を遊技者に有利な状態にし、その後、所定の特別図柄抽選回数（ N_2 ）に亘り、普通図柄抽選の抽選条件及び普通電動役物の開放時間を通常の状態にし、
さらに、前記演出制御部は、前記特定演出モードの後部期間（ N_2 ）に亘り、特定予告演出の出現率を高くすることを特徴とする弾球遊技機。

【請求項 2】

前記演出制御部は、前記特定演出モードの全期間（ $N_1 + N_2$ ）に亘り、同じパターンの液晶背景画像、抽選図柄及び / 又は演出音を継続的に使用することを特徴とする請求項 1 記載の弾球遊技機。

【請求項 3】

前記特定予告演出は、作動時に、前記液晶背景画像及び抽選図柄が表示される演出図柄表示装置の一部を隠す可動役物によって実現されるものであることを特徴とする請求項 1 または 2 記載の弾球遊技機。

【請求項 4】

前記演出制御部は、前記特定演出モードの全期間（ $N_1 + N_2$ ）、又は前記特定演出モー

ドの後部期間（ $N2$ ）に亘り、ストーリー性のある演出を行い、当該ストーリーの結末を前記特定演出モードの終了時に示すことを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の弾球遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

本発明は、上記の如き実情に鑑みこれらの課題を解決することを目的として創作されたものであって、請求項１の発明は、遊技に係る制御を行う遊技制御部と、演出に係る制御を行う演出制御部とを備え、前記遊技制御部は、始動口に対する遊技球の入賞に応じて特別図柄抽選を行い、当該特別図柄抽選の抽選結果に応じて特別電動役物を開放制御すると共に、特定の入賞口に対する遊技球の入賞、又は特定のゲートにおける遊技球の通過に応じて普通図柄抽選を行い、当該普通図柄抽選の抽選結果に応じて普通電動役物を開放制御する弾球遊技機であって、前記演出制御部は、所定の特別図柄抽選回数（ $N1 + N2$ ）に亘って継続する特定の演出モードを起動すると共に、当該特定演出モード中に継続性のある演出を行い、前記遊技制御部は、前記特定演出モードの開始から所定の特別図柄抽選回数（ $N1$ ）に亘り、普通図柄抽選の抽選条件及び／又は普通電動役物の開放時間を遊技者に有利な状態にし、その後、所定の特別図柄抽選回数（ $N2$ ）に亘り、普通図柄抽選の抽選条件及び普通電動役物の開放時間を通常の状態にし、さらに、前記演出制御部は、前記特定演出モードの後部期間（ $N2$ ）に亘り、特定予告演出の出現率を高くすることを特徴とする弾球遊技機である。このようにすると、遊技者に有利な遊技モード（例えば、時間短縮モード）が終了し、通常モードに移行しても、特定演出モードによる演出が継続的に行われるので、チャンス期間が終了したという感覚を緩和することができる。これにより、遊技の止め時を引き延ばし、稼働率を向上させることができる。また、本発明の特定演出モードは、遊技者に有利な遊技モードと通常モードに跨って実行されるので、出玉に影響しない従来の特定演出モードに比べ、遊技者の興味を持続させることができると共に、大当りに対する期待感により、特定演出モードが終了するまで遊技の止め時を引き延ばすことができる。

請求項２の発明は、前記演出制御部は、前記特定演出モードの全期間（ $N1 + N2$ ）に亘り、同じパターンの液晶背景画像、抽選図柄及び／又は演出音を継続的に使用することを特徴とする請求項１記載の弾球遊技機である。このようにすると、遊技者に有利な遊技モードが終了しても、液晶背景画像などで特定演出モードの継続性をアピールし、チャンス期間が終了したという感覚を緩和することができる。

請求項３の発明は、前記特定予告演出は、作動時に、前記液晶背景画像及び抽選図柄が表示される演出図柄表示装置の一部を隠す可動役物によって実現されるものであることを特徴とする請求項１または２記載の弾球遊技機である。このようにすると、大当りに対する期待感により、特定演出モードが終了するまで遊技の止め時を引き延ばすことができる。

請求項４の発明は、前記演出制御部は、前記特定演出モードの全期間（ $N1 + N2$ ）、又は前記特定演出モードの後部期間（ $N2$ ）に亘り、ストーリー性のある演出を行い、当該ストーリーの結末を前記特定演出モードの終了時に示すことを特徴とする請求項１～３のいずれかに記載の弾球遊技機である。このようにすると、ストーリーの結末に対する興味により、特定演出モードが終了するまで遊技の止め時を引き延ばすことができる。